

居合道だより

令和 7年 12月

第233号



ありがとう！
福岡武道館



はじめに

オーストラリアに伝える「The Way」

武揚館道場

剣道・居合道 教士七段 末次 輝

今年の正月、武揚館道場に懐かしい来訪者がありました。ルディ・バレント氏です。三十年前、彼は高校の英語教師として来日しており、その間に武揚館道場で熱心に稽古をしていました。久しぶりの再会は大変嬉しく、このご縁がきっかけとなり、今年の十月、私はオーストラリアの学校に招かれました。現地では剣道・居合道・杖道に加え、和太鼓も披露する機会をいただきました。その中でも、今回は私自身が深く関わってきた居合道を中心にお話ししたいと思います。

居合の演武には、六歳の少年から七段の有段者まで、年齢も段位も異なる六名が参加しました。世代の違いを越えて同じ舞台に立つその姿は、日本の武道が受け継いできた「つ

ながら」そのもののよう感じました。学生たちは私たちの服装や、初めて目にする刀に興味津々で、会場は少しざわついていました。しかし、演武が始まると空気は一変し、場は静寂に包まれました。抜き付けの緊張感、斬り下ろしに宿る気迫、そして呼吸と動きが調和する一瞬一瞬に、学生たちは真剣な眼差しを向けていました。演武後にいただいた拍手から、言葉では伝えきれない何かを彼らが心で受け止めてくれたことが伝わり、胸が熱くなりました。

訪問前には、学校の先生から「武道の道について話してほしい」と要望を受けていました。私は「道」を“The Way”（人生）と訳し、武道は技術を磨くことだけを目的とするものではなく、日々の稽古を通して生き方を整え、心を育てていく営みであるとお話しました。相手を尊び、勝敗よりも自らの在り方を問い続けること。そして、武道とは相手を倒すためではなく「相手と調和し、共に高め合う道」であることも強調しました。学生たちは静かに聞き入り、深くうなずきながら耳を傾けてくれました。

帰国後、学校の先生から嬉しい報告が届きました。竹刀で新聞紙切りを体験した子供が、刀の握り方を覚え、毎日家で練習していること。また、自閉症の生徒たちが見学しており、普段は長く座っていることが難しいのに、この日は静かに演武を見つめていたこと。さらに帰宅後も落ち着いて過ごし、保護者が「学校で何があったのですか？」と驚いて連絡をしてきたこと。滞在中大変お世話になったバレントさんの奥様が最後に「このような交流こそが世界平和につながるのですね」と話しておられました。

三十年前、武揚館で稽古をしていたバレント氏との縁が、長い時を経て再び結ばれ、オーストラリアの子供たちに新しい体験を届けることにつながりました。そのことを思うたびに、武道が持つ「人と人を結びつける力」を改めて感じます。今回の経験が、将来の剣道・居合道・杖道の裾野を広げる小さな一歩となり、いつの日か国や文化を越えた心の交流へと広がっていけば、これほど嬉しいことはありません。

道場訪問

会の名前：水巻町居合道同好会

- ・代表者 村瀬義則
- ・連絡先 090-9579-2983
- ・指導者 國武忠義
- ・流派 夢想神伝流
- ・稽古場所 水巻町武道館(駐車場有)
- ・稽古日 毎週火曜日 19:00～20:45

水巻町居合道同好会は、40年以上前に山下貞利先生の指導のもと、水巻で始まって以来、連綿と続く会で、稽古場所はさまざまに変わってきましたが、現在の水巻町武道館になってから、すでに20年以上が経っています。

指導者の國武先生は30代から居合道を始められ、現在84歳。50年以上の居合道歴を持ち、指導の経験も30年以上になります。指導をするうえで気を付けられていることは、絶対に事故が起こらないように細心の注意を払うこと、そして、故障しないように入念に準備運動をしてから稽古を開始することだそうです。

現在の会員数は4名(すべて男性)で、和気あいあいとしながらも楽しく、充実した稽古をしています。稽古内容は基本を重視しながら、主に制定居合を中心に、古流も含めて技稽古に集中的に取り組んでいます。稽古風景は少しユニークで、輪になって全員が向かい合う形で技稽古を行っており、國武先生によれば、お互いの技や動きを確認しながら、良いところや直すべきところを指摘し合える形になっているとのこと。マンツーマンに近い形で指導できるため、濃い稽古内容になっているところが、少人数ならではの利点と言えます。さらに、道場が非常に広いため自由に稽古ができる点や、駐車場スペースが十分あるため車でのアクセスもしやすいなど、通いやすい利点も多くあります。

水巻町居合道同好会で稽古する新人会員の方にもインタビューをしてみました。

入会2年半の山口さんです。居合道を始めたきっかけは、動画で居合を見て興味を持ち、調べてみると水巻にちょうど稽古できるところがあったため通い始めたことだそうです。稽古は楽しく、居合を学んでいくうちに、みるみる体力がついてきたことにとても驚いたと話しておられました。



11月16日(日)

地域稽古会 居合道部

みやま市



11月24日(月・祝) 福岡県居合道稽古・称号講習・級審査会
福岡武道館での最後の稽古会となりました。

福剣連

福岡武道館



12・1月の予定・編集後記

令和8年1月11日	福岡県居合道部初稽古会	福岡剣連	福岡市総合体育館武道場
1月25日	地域稽古会	居合道部	田川

編集後記

いよいよ山の色も鮮やかになったと思ったら、もう12月初め頃から雪の情報が始まっています。ちょっと前までは部屋のエアコンの「冷房」ボタンを押していましたが、最近はずいぶん「暖房」に変わりました。ただ、近年は体育館や稽古場にエアコンが導入されているため、寒い稽古場ということはなくなってきました。以前は稽古を始めるとだんだん足の感覚がなくなってきた、大変だったのですが^^。

先月の末をもって「福岡武道館」が閉館となりました。46年間という長い歴史があり、その中で技を磨かせていただいたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。また、跡地には県立美術館が建設される予定です。

居合道部一同、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

新しい移転先として選ばれたのは、福岡市博多区にある福岡市民体育館の敷地内です。市民体育館の第2競技場棟と本館棟の跡地が、新武道館の建設予定地となりました。市民体育館と連携することで利便性を高め、新たなスポーツ拠点となることを目的としています。

武道場は剣道場4面、柔道場4面、弓道場、相撲場や体育館も備わっています。また、省エネルギー対応ビル（ZEB化）としてエネルギー効率が高く、再生エネルギーを使用する計画もあります。

今後約半世紀お世話になる武道館となります（次の建て替え時には私はこの世にいないでしょうが）、よろしく願いいたします。

新福岡武道館の開館日は2026年1月5日、オープンイベントは2025年12月20日に招待客のみで開催される予定です。なお、駐車場については県庁の駐車場が有料化され、解放されるということです。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部
第23号 令和7年12月発行
発行：福岡県剣道連盟居合道部
URL: <http://riai.info/>
発行人：井手友太
〒819-1132 糸島市有田36番地-1
TEL:092-322-0847
編集：有限会社FEW